

南無ちゃんのブログ 2012年8月

8月1日(水)	その後の緑のカーテン.....	2
8月2日(木)	午前中は草刈日和.....	3
8月3日(金)	ピオーネ栽培実習(第7回目).....	4
8月4日(土)	暑い日は川に浸かるのが一番.....	5
8月5日(日)	ブドウー斉摘心.....	5
8月6日(月)	サマークルージング1日目.....	6
8月7日(火)	サマークルージング2日目.....	7
8月8日(水)	サマークルージング3日目.....	7
8月9日(木)	安満地でダイビング.....	9
8月10日(金)	安満地の夕焼け.....	10
8月11日(土)	サマークルージング4日目.....	11
8月12日(日)	サマークルージング5日目.....	11
8月13日(月)	サマークルージング6日目.....	12
8月14日(火)	お盆.....	13
8月15日(水)	佐崎さんの死を悼んで.....	14
8月16日(木)	知床半島へ.....	15
8月17日(金)	サーモンフィッシングにいざ出陣.....	16
8月18日(土)	熊出没.....	18
8月19日(日)	忠類川でのマス釣り.....	21
8月20日(月)	ブドウ菌の草刈.....	21
8月21日(火)	ムカデ芝の成長.....	22
8月22日(水)	九頭竜川の夕日.....	23
8月23日(木)	寂しい釣果.....	25
8月25日(土)	八月の九頭竜川釣行.....	26
8月26日(日)	ブドウとイチジクとバジルの成長.....	27
8月27日(月)	アンテナファームの草刈.....	29
8月28日(火)	バジルと茗荷とオクラ入りラーメン.....	30
8月29日(水)	狩猟免状.....	31
8月31日(金)	匹見峡温泉やすらぎの湯.....	32

8月1日(水) その後の緑のカーテン



6月7日に植えたホップとゴーヤの苗が大きく育って、予定通り緑のカーテンになりつつあります。ゴーヤの花は咲きましたが、ホップの花は未だのようです。ホップの苗が2株だけだと寂しいかなと思って、ゴーヤの苗を一株足しましたが、これが余分だったようです。ゴーヤは我が物顔で柵を占有しています。

ホップの蔓は5~7mにまで成長するらしく、柵はもっと高く作った方が良かったかもしれません。

午前中はホームページを更新したりして過ごしました。今日は台風の影響のためか雲が多く、風が強めで、昨日よりは過ごしやすい天気でした。午後からは、ソーラーパネルを取り付けるために撤去していたキャンピングカーのLED照明や竿用フレームを復旧しました。3時過ぎから、ブドウの蔓を誘引したり、ブドウ園の草刈をしました。



8月2日(木) 午前中は草刈日和

午前中は風が少しあって、曇りでした。草刈日和なので、朝8時前から2時間程草刈をしました。草刈の後はシャワーを浴びてビールを飲んで昼寝です。



午後からは晴れて日差しが強く、外に出る気になりませんでした。なので、うちの中で、フライのタイイング(フライを作ること)をしました。知床に樺太マスを釣りに行くための準備です。フックは#6のものが手持ちに無かったので#4を使いました。マラブーやラビットファー、テンシルなども手持ちのものを使いました。

午後5時頃から再び2時間程草刈をしました。結構疲れしました。

8月3日(金) ピオーネ栽培実習(第7回目)



午前中、7時から9時まで家の周りの草刈をして、シャワーを浴びてからピオーネ栽培実習に行きました。今日のお題は「枝管理」でしたが、やはり視線は果実の方に向きます。丁度。果粒軟化期に入った頃で、色が着き始めています。出荷までには、あと1月程ありますので、まだまだ粒は大きくなるそうです。

今日も暑い日が続きます。午後からは、図書館やスーパー、ホームセンター、農協に行って所用を済ませた後で、先日作ったBBQ用炉のテーブル部にペンキを塗りました。



夕方5時頃から、ベト病・うどん粉病予防のために、ランマンFの2000倍液を散布しました。

8月4日(土) 暑い日は川に浸かるのが一番

朝早起きして、家族皆でお墓掃除をしました。昼間は猛暑で家に居ても、只暑いだけなので、川に浸かりに日野川に出かけました。うちからだど、やはり日野川が一番近いのです。地道を歩いて約1時間半。

2週間程前に根雨に来た時には鮎の姿が見えなかったのですが、その後追加放流したとのことで、そろそろ釣り頃になっているんじゃないかと感じたので来ました。川には鮎の姿があり、跳ねている奴もいます。



日野高校野球グラウンド前に入りました。10分程で最初の一匹をゲット。約16cmで一寸小振りですが、オトリには十分使えます。・・・中略・・・昼飯を遅らせて鮎釣りに熱中していましたが、お茶(水分)が切れたので、1時半頃一旦中断しました。

昼食後は、日野病院前の瀬に移動しましたが、バラシ2回と小さめのを1匹追加したのみでパッとしませんでした。結局、1ダース程の釣果でしたが、やっぱり暑い夏は鮎釣りに限ります。川の中は涼しいよ～ん！

8月5日(日) ブドウ一斉摘心

早起きしてブドウ園に行って全部のブドウ若木を摘心しました。これまでに、順調に育った苗もありますが、そうでは無かった苗もあります。それぞれの成長度合いを観察し、記録した上で摘心しました。

目標では3m近く伸びることが求められていますが、現実に戻ると1mも伸びれば良好な方です。

朝の内は涼しいので、BBQ用テーブルにペンキを上塗りしてから、昼寝をしました。今日は風も強くて比較的過ごし易く、気持ちよくお昼寝できました。

3時頃家を出て、牛窓に行きました。明日の早朝から別府経由で宇和島方面にクルージングの予定です。

8月6日(月) サマークルージング1日目

キャプテン、辻さん、平井さんと共に四国高知の安満池を目指してクルージングに出発。

5:30 起床

6:00 牛窓港出航

昨夜からの雨も上がり清々しい朝です。雲の中から朝日が昇り、小豆島の山の上には雲が掛かっています。

7:12 豊島と小豊島の海峡を通過

7:27 豊島南側を通過

7:16 本船航路の北側を通り、男木島北側を通過

7:57 柏島南端を通過

8:30 大槌島南側を通過

9:09 与島南側の南備讃瀬戸大橋の下を通過

9:25 木島と牛島の間を通過

10:11 小島を高見島の間を通過 ジリジリと暑くなってきた

10:53 六島南側を通過 連れ潮で10~8ノットの航行

12:09 巨大船 PANAMA 船籍 CAPE CAMELLIA に追い越される

13:00 高井神島と豊島の間を通過

13:58 津波島(つばしま)と伯方島の間を通過し岩城島に向かって北上

14:45 伯方島の北側を廻り伯方島と大三島の間を通過

15:52 岡村島南端を通過し大崎下島を左に見て北上

16:30 大崎下島の小長(おちょう)港に着岸し停泊

20:00 明日早朝 3:00 の出航に備えて就寝



8月7日(火) サマークルージング2日目

大崎下島の小長港から別府までの行程をクルージングしました。天候は曇り時々晴れで、風や波はほぼゼロに近くて鏡のような海を全工程汽走しました。

別府は言わずと知れた日本の代表する温泉リゾートです。別府に着いてから、竹瓦温泉などを温泉めぐりしたり居酒屋で関さば・関あじを食べたりしてアフタークルージングを楽しみました。

2:30 起床

3:00 小長港を出港

3:58 斎島の北側を通過

4:38 安居島の西側を通過

6:00 怒和島と中島の間を通過

6:25 平郡島の東側を通過

12:30 伊予灘をクルージング中にキャプテンがルアーでトロリングしていたところ、シイラがヒットした。

3枚におろして刺身にして食べました。型は30cmくらいで小振りでした。

13:00 二匹目のシイラがヒットした

13:40 国東半島の太田空港の東を通過

14:17 国東半島の太熊山を通過

16:20 別府港に到着



8月8日(水) サマークルージング3日目

別府港からダイビングの目的地である安満地を目指してクルージングしました。朝のうちは雲が多かったのですが、そのうちに晴れてじりじりと暑くなりました。

今日も海は凪で、殆どの行程を汽走しましたが、安満地到着1時間程前に10~15ノットの風が出てきたので帆走しました。



5:30 起床

6:42 別府港を出港

豊予海峡が9時半頃転流する予定なので、少し出発を遅らせました。お陰でゆっくり朝食を摂ったりトイレに行くことができました。

9:50 佐賀関と高島の間を通過

この頃から晴れて暑くなってきた。

12:50 キャプテンが55cmのシイラを釣り上げた。

16:00 宿毛沖、安満地の7マイル手前で西の風が吹いてきたので、汽走をやめて帆走した。

三日目でやっとヨットらしい走りができた。

17:30 安満時到着



このシイラは私が3枚におろして、刺身にして皆で美味しく頂きました。(昨日のシイラよりも余程食べ応えがありました。)

8月9日(木) 安満地でダイビング

高知県大月町安満地のダイビングショップ「うみほたる」というところに来ています。昨年の11月以来のダイビングです。ちょっと間が開いていたのでボンベのセッティングなどは見よう見まね状態でした。今日は2本潜りましたが、最初の一本目は耳が痛かったり、水中めがねが曇ったりでイマイチでした。が、2本目は快適で、クマノミなどのお魚や色とりどりのさんご礁の中の水中散歩を堪能しました。



ダイビングの後で、ショップのスタッフや他のお客さんと一緒にショートクルーズに出かけました。



8月10日(金) 安満地の夕焼け

今日は午前中に1本のダイブで打ち切って、午後から明日からのクルージングに備えて宿毛市外に買出しとお風呂&サウナ(近くのベルビーチ大月)に行きました。



今日は45分のダイブでしたが、天気予報が外れて晴天に恵まれ視界良好でした。ここ安満地は、この時期夕日がショップから綺麗に見えるんです。「うみほたる」で今日もへべれけになりました。



8月11日(土) サマークルージング4日目

安満地からの復路の初日です。今日の目的地は大分空港の北側に隣接するマリンピアむさしです。約60マイルの行程で10時間を予定していましたが、予定より少し早く着きました。

5:30 起床

5:55 安満地出港 天候:曇り

7:38 鼻面岬を右舷に見て通過

8:34 小雨が降り始めた 132°20.72E, 32°57.48N

9:52 水の子島を左舷に見て通過 雨が止み、日が射してきたのでセールを出して汽帆走

10:30 風が弱くなったのでジブセールを巻いて汽走

12:43 佐賀関と高島の間を通過 薄日が射してきた

14:50 大分空港の東側を通過

15:15 マリンピアむさしに入港

給油と給水する 電気・水道完備の良く整備された綺麗なポンツーンだ



8月12日(日) サマークルージング5日目

安満地からの復路2日目で、大分県の国東半島のマリンピアむさしから愛媛県の大三島の宮之浦の海の駅までの約80マイルの行程です。6ノット平均で13時間の移動時間を見込んで、朝4時前に出港しました。

終日風も無く雨も降らず、穏やかな天気でした。大三島の宮之浦のポンツーンは水上バス用のものらしく、大きくてとても着岸しやすかったです。何よりも、目玉は係留料の安さで、7トンのZipanguVIIの場合14円でした。電気、水道はないのですが、これで電気だけでもあれば、一泊1000円でも安いと思います。

- 3:30 起床
- 3:50 マリンピアむさしを出港
- 5:40 全般的に雲が多い中を朝日を見た
- 7:30 伊予灘北部の八島の南 2 マイルを汽走中に、イルカの群れがやって来て暫く並走した
- 11:20 片島西隣の大石灯台を左舷に見て通過
- 12:17 クタコ水道のクタコ島を右舷に見て通過
- 14:07 斉島南側の白石を左舷に見て通過 直射日光が照りつけて暑い
- 15:32 大下島と小大下島の間を北上
- 16:30 大三島の巨大なポンツーンに係留完了



8月13日(月) サマークルージング 6日目

今日は最終日で大三島から、母港である牛窓を目指します。行程は約 75 マイルで、およそ 11 時間の所要時間を見込んでいます。早朝に雨が降りましたが、天気は概ね晴れで、海上は凪でした。午前中は蒸し暑く、午後からは猛暑日らしくジリジリと暑い日でしたが、午後 3 時頃から風が出てきました。

- 5:30 起床
- 5:45 宮之浦を出港 朝 4 時頃から降り始めた雨も上がり清々しい朝だ。
- 6:30 大三島北端を右舷に見て時計回りに島を周る
- 7:04 しまなみ海道の多々羅大橋の下を南向きに通過
- 7:48 赤穂根島と津波島の間を東向きに通過して燧灘に出る
- 8:32 豊島の南側を東向きに通過
- 11:45 六島の北端を東向きに通過 瀬戸大橋が見えてきた
- 12:55 与島南側の北備讃瀬戸大橋の下を東向きに通過
- 13:50 大槌島を右舷に見て東向きに通過
- 14:30 直島と柏島の間を東向きに通過

14:45 柏島と豊島(てしま)の間を航行中に風が出てきたのでジェネカーを出して帆走
15:26 ジェネカーの一部が破れたので撤収して汽走
16:45 牛窓港に帰港 艀装解除、デッキ・船内を清掃、整理
17:45 解散



キャプテン、辻さんご苦労さまでした。またご一緒させて下さいね。

8月14日(火) お盆

朝の早い時間にブドウ園に行って、ブドウの世話をしました。8日間も遊びに出かけていたので心配だったのですが、8月になるとブドウの蔓の成長は弱まるようで、心配していた程ではなくて安心しました。



私の村ではお盆に「ご巡祭」があります。御神輿が村の何箇所かの御旅所を巡ります。以前は御神輿を担いでいたのですが、過疎化と高齢化が進んで御神輿を担ぐ若者が減ったため、今ではトラックに載せての「ご巡祭」です。御神輿について行って御旅所を巡り、お接待を受けるのがこの行事の楽しみです。

ご巡祭でお酒やビールのお接待を受けたので、昼寝して、夕方から家族と一緒に墓参りをしました。

日が暮れて夜になると、盆踊りに出かけて1時間程踊りました。その後は、恒例の打ち上げ花火です。我が家に帰って、車庫の前に椅子を出して花火を観ました。



8月15日(水) 佐崎さんの死を悼んで

去る14日、技術屋としての私の師匠である佐崎さんがご逝去されました。満58歳、享年60歳の早すぎる死でした。今日の午後1時から告別式があったので参列させて頂きました。

初めて佐崎さんに出会ったのは、私が25歳の時で29年も前のことですが、技術屋としてオーラのようなものを発しておられました。私は電気工学科を卒業してはいましたが、建築の電気設備を設計していて、マイクロコンピュータ関連の設計がしたくてしくて、某システムハウスに転職した時に第一線でバリバリのエンジニアとして活躍されていた眩しい存在の人でした。佐崎さんはフロンティアスピリットに抱いた若きエンジニアでした。

その頃、私は既に結婚していましたが、佐崎さんは独身で、仕事の他にスキー等のスポーツ(レジャー?)にも熱心で、勢いを感じました。株式会社とは名ばかりで、創業期のスティーブジョブスのアップル社のように、社員の数は6名程で薄汚いガレージにある職場でした。

私はこの世界(マイクロコンピュータのハードウェア設計)において真にビギナーでしたので、佐崎さんが先生でした。佐崎さんの所作を真似て少しでも近づくことが目標でした。

佐崎さんと一緒に何日も泊まりがけで仕事に行ったことや、スキーと一緒にいったことなどを、ついこの間のことのように思い出します。

私にとって、佐崎さんは、長い間上司でしたが、手本のような存在だったので、口やかましく言われたことはなく、かと言って褒められたことも記憶にありませんが、頼もしい存在でした。

8085A, Z80, 8086, 80186, 80286, 8344, 68000 などのマイクロコンピュータ応用システムと M80, PL/M-86 など記述した OS やモニタなどのシステムプログラムと一緒に開発して喜びを分かち合ったことを懐かしく思い出します。

マシニングセンター用の制御システムを開発した時には、凄いスピードでマンマシンインタフェースを一気に完成させて驚かされました。

最近の 15 年位は分担する職務が違ったりしたため、意見交換することも少なかったのですが、前の会社で ISO9001 を取得できたのも佐崎さんの功績だと思います。

佐崎さんの方が 4 歳も年上なのに、私の方が実質的に早く隠居してしまい、逆に佐崎さんは今年の 6 月に体調を崩されるまで、仕事に熱中されていたとのことですので頭が下がります。ご冥福をお祈り致します。

私は、50 代で天逝された人を何人も見送りしましたが、その度に、人生は一度きりなので、悔いの無いように楽しんで人生を終えたいという思いを強くします。

8 月 16 日(木) 知床半島へ

8 時に家を出た。9 時 30 分発の便なのに、佐藤さんと 8 時 30 分に空港で待ち合わせの約束だ。空港の駐車場に車を留めて直ぐに佐藤さんに電話をすると、駐車場のバス停でバスを待っているところだという。その上、バスは近くまで来ているので、慌てて車から荷物を引き摺り出してバス停に小走りに駆けていった。殆ど待つことなく巡回バスに乗ることができてラッキーだった。

私は昨年 2 月以降飛行機に乗っておらず久々の搭乗だ。昨年は ANA のダイヤモンドメンバーだったが、今年はブロンズメンバーに転落してしまった。佐藤さんは足繁く北海道に釣りに行っているらしくプラチナメンバーになられたということで、プライオリティサービスで手荷物を速く受け取ることができるように、一緒にチェックインしようという算段だ。

つい先日の 8 月 9 日から岡山空港に ANA ラウンジがオープンしたそうで、ここにも佐藤さんの同伴者として入れてもらった。小さなラウンジだが落ち着いた雰囲気だ。久しぶりの空の旅で、B787 に乗るのは初めてだ。シートモニターを見るのも触るのも初めてだったので、色々といじらせてもらった。



羽田では 40 分程 ANA ラウンジで時間を潰して、売店で弁当を買って昼食にした。

14 時に中標津空港に着き、手荷物を受け取った。天候は曇りで、気温は 25℃と予想よりも暖かい。中標津からはレンタカーで移動した。今夜の宿は羅臼のらうす第一ホテルだが、途中、虫類川で魚影を見たり、明日乗船する港である相泊港に行って寄り道をした上、食事をしてからホテルに向かったので、ホテルに着いたのは 20 時頃だった。



8 月 17 日(金) サーモンフィッシングにいざ出陣

朝というよりも未明(午前 2 時)に起床して、眠気まなこをこすりながら、ホテルを午前 2 時半に出発した。相泊港には午前 3 時過ぎに到着したのだが、既に港の駐車場はいっぱいという有様だった。私にとってはちょっとした冒険だったが、ここに集まる釣りマニアには日常なのだろう。

釣り道具を持って、乗船場所に行くとき懐中電灯やヘッドライトを着けた何人もの男達が船に乗っていた。船は、定員 13 人のいわゆる伝馬船だ。そんな船が合計 4 艇、午前 3 時半に一斉に知床半島の先端近くのポイントを目指して出港した。知床の朝は早い。日本の最東部にあるのと同時に、緯度が高いので船に乗っていた頃から白夜のように北の空が薄明るい。デジカメのデータを見ると日の出の時刻は 4 時 29 分だった。

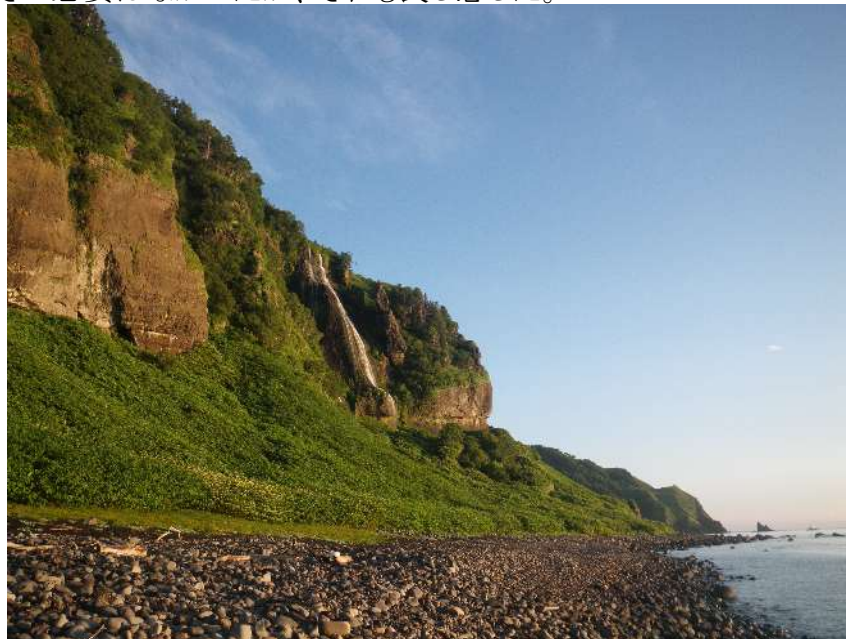
船は最初のポイントであるモイレウシ川に停まり、半数以上の方が下船した。ここから先は、追加料金が必要とのことだ。次に停船したポイントは、クズレ滝というポイントで、ここで大方の方が下船した。4 時 10 分、佐藤さんと私を含む 4 人だけが最終ポイントである「滝の下」に到着した。ここは、天然の岩石を利用した岸壁(船着場)になっていたため、下船し易かった。

徒歩で、切り立った崖の上から水が落ちる滝の下まで歩いて行って、おもむろに準備をした。私達はフライで、他の二人はルアーで釣りをした。最初にヒットしたのは、ルアーの A さんだった。丁度、朝日が知床半島と国後島の間あたりから昇り始めた頃だった。



その後、ルアーのBさんがヒットし、続いて佐藤さんもピンクサーモン(樺太マス)を仕留めた。私はというと、キャストイングの練習も長いことやっていないし、魚の付き場を見極める眼力に乏しいのか、なかなかあたりがない。このポイントの、前に私達を連れてきた渡船が停泊してくれていて、私達の背後にヒグマが出没しないかどうかをずっと見張ってくれていた。感謝。

皆が、釣りに夢中になっていると、後ろの茂みからキタキツネがやってきて、Aさんがゲットしたサーモンをストリンガーごと啜って行ってしまった。残念。今日は、ヒグマは出ないようだが、どうやら狐はいるようだ。何度も狐がやってくるので、それを追い払いながらの釣りになった。私は、全然釣れないので、その必要はなかったが、それも良し悪しだ。



今日の知床半島は快晴で、太陽が昇るに連れてじりじりと暑くなった。7時過ぎからは誰にもあたりが無くなり、皆それぞれ休憩したりする有様だった。9時頃にはルアーの二人が撒収しはじめたので、私達も道具を仕舞って、9時半には「滝の下」を離岸した。結局、Aさんは2本、Bさんは5本、佐藤さんは1本、私は坊主という釣果だった。



10時10分頃、相泊港に帰港した。ホテルは11時頃まで掃除をするため休憩できないと聞かされていたので、途中で、一寸早めの昼飯を摂ることにした。羅臼の「北の国から・・・純の番屋」に行った。

12時過ぎにホテルに戻り、4時まで昼寝をして、それから夕間詰めを狙って、相泊川の河口近くに行った。そこで、佐藤さんの友達のF子さんに会った。F子さんには一昨年、虫類川に行った時にお会いして以来の再会だ。3人で相泊川の河口で5時半頃から7時頃まで粘ったが、釣果の方はさっぱりだった。

8月18日(土) 熊出没

未明から渡船に乗るために、午前2時15分にホテルを出て国道沿いに相泊港に向かっていたところ、佐藤さんが急ブレーキを踏んだ。見ると道路脇に巨大な黒い動物がいたのだ。ヒグマだ！かなり大きい。例えると、ミゼットIIという車と同程度の大きさだ。右側は海の護岸で、左側は崖でコンクリートの擁壁で覆われているという地形のため、ヒグマは道路を移動するしかない。幸運にも、ヒグマは我々と同じ方向を向かって軽快なステップで走り出した。50m位走ったところに擁壁の切れ目があって、そこから熊は山に入って行ってくれた。やれやれと胸を撫で下ろした。

今朝は、ヒグマの他にエゾシカやキタキツネが徘徊しており急ブレーキを踏むことも何度かあった。北海道を車で旅するときには、これらの動物と衝突するリスクを考慮する必要がある。特に、鹿や狐は昼間でもよく見かけるし、夜間は特に注意が必要だ。

知床半島のクズレ滝での釣りを終えて渡船で相泊港に帰る途中、海岸でヒグマを見かけた。相泊港の掲示板にも警告文が掲示されていたが、鯨の死骸が海岸に打ち上げられており、それをヒグマが食べに来るといったのだ。白い鯨の骸と黒いヒグマのコントラストが印象的だった。

わざわざ、熊を見に行けば別だが、地元の人でもそれほど頻繁に熊を見かけることは無いというのに、今日は熊を二度も見かけてしまった。クズレ滝というポイントは、昨日熊が出没して釣りを切上げたという話だったが、今日は熊も出ず幸いだった。



写真はクズレ滝から南西側を見た風景。左の岩は谷岡ヤスジの4コマ漫画に出てくる牛に似ている。

朝、相泊港でF子さんと待ち合わせして、佐藤さんを含めて3人一緒の釣行となった。F子さんは普段はフライフィッシャーだが、今日はルアーを使うというので、F子さんからルアーの道具を借りて私もルアーで釣ることにした。このため、佐藤さんが一人フライで孤軍奮闘することになった。

岩見沢からバスでやってきたグループを含めて34人の釣り人が伝馬船3艇に分乗して相泊港を出た。モイレウシ川で殆どの釣り人が降りて、私達3人と2人の熟年の釣り人(CさんとDさん)の5人でクズレ滝というポイントで降りた。

今日も知床は天候に恵まれて、風も弱く穏やかな海だった。釣り始めて30分程経過した午前5時頃、Cさんに先ずヒットした。その後暫く沈黙が続いた後、私の竿に当たりがあった。でも、海面から4メートル近い岩の上に立っていたことと、タモを持参していなかったため、どうしたものかと思案しながらリールを巻いているうちにばらしてしまった。

その後、Cさんが1匹、F子さんが2匹、佐藤さんが1匹釣り上げた。9時頃には干潮になって当たりがなくなったので撤収した。



どうも、今年は樺太マスの魚影が薄いらしい。いつもなら1本500円程度で売られている樺太マスが、羅臼の道の駅では1,200円で販売されていた。

結局、私は2日間とも坊主だったが、釣っても運賃の方が高いので、「釣果はいつでも良いのだ」と負け惜しみを言っておこう。2日間とも、穏やかな晴天に恵まれて、気持ちよく釣りのできたので、それだけで十分満足だ。

8月19日(日) 忠類川でのマス釣り



結論から言うと今日も坊主だった。私は魚の姿さえ見るができなかつたので残念だ。

朝4時に起きて羅臼を発ち、忠類川には5時過ぎに着いた。今朝の天候は曇りで、忠類川には少しガスがかかっていた。忠類川には昨年は来なかつたが、それまでの5年間は毎年一度は鮭釣りに来ていた。今年は、樺太マスのシーズンにやってきた。しかし、知床半島での樺太マス釣りが不漁だったので、忠類川でも厳しいだろうと思っていた。

今日は、さすがの佐藤さんも坊主だった。その他、約20人位の釣り人が入ったと思われるが、釣ったという話は全く聞かになかつた。私は9時には川から上がって帰り支度をした。この頃から晴れ間が広がり始めた。佐藤さんは10時頃まで粘ったようだ。

川から上がって他の釣り人から、今年の忠類川の樺太マスの異常な少なさを嘆く声を多く聞いた。去年の50分の1の量だとか、15年間この川を見ていてこんな年は初めてだというような話もあった。樺太マスは鮭とは違って、母川に回帰する習性が無い故に、国後や択捉などの他の河川に遡上しているのではないかという意見もあった。理由は定かではないが、今年は樺太マスの量が極端に少ないことは事実のようだ。

午前11時には忠類川を後にして、中標津に向かい、昼食を食べた後でレンタカーを返して、午後2時半の飛行機で羽田に向かった。18時の便で羽田を発ち岡山に向かった。岡山空港には19時過ぎに到着し、丁度20時頃帰宅した。4日間を通じて天気が良かったことは幸いだった。来年はキャンピングカーでも行ってみるとするか！？

8月20日(月) ブドウ園の草刈

ブドウ園の様子が気になっていたのを見に行くと、案の定草ボウボウだった。最後に草刈をしてから約2週間が経っている。ブドウの蔓は成長が止まったようだが、草の方はまだまだ成長しているようだ。



朝7時からの頑張って4時間程草刈をしたらへトへトになった。今日も天気が良いすぎだ。昼寝をして体力を回復させて4時頃から再び草刈に出かけたが、天気予報は外れて雲ひとつ無い青空だった。仕方がないので、日陰の場所を先に刈った。

30aのブドウ園を1日で刈るのは難しい。今日も頑張ったけど、明日、もう一日かかりそうだ。草刈が終わったら、明日の夜から鮎釣りにでかけよう。

8月21日(火) ムカデ芝の成長



今日もブドウ園の草刈をしました。昼寝を挟んで、午前中3時間、午後2時間でやっと完了しました。昨日と同様に暑い一日だったので、今日も午前の部と午後の部の終了後、直ぐにシャワーを浴びました。シャワーを浴びた後に飲む冷たい水は超うまででした。今年健康診断でも尿酸値が高かったなので、サマークルージング以降ビールは止めています。代わりに一日2Lの水を飲む

ようにしています。

昨年、崖崩れを直した畦畔の部分に、今年4月にムカデ芝(センチピートグラス)を種を蒔きました。その後、特に水遣りするわけでもなく放置していたので、大部分の種子は発芽せずに流失したようです。下の写真は僅かに生き残ったムカデ芝です。今のところ他の雑草に負けているようです。ムカデ芝がカバープランツとして地面を覆い尽くすように成長すれば目論見通りなのですが、どうなることやら・・・



8月22日(水) 九頭竜川の夕日

昨日21時前に家を出て、途中で休憩・睡眠して午前9時過ぎに九頭竜川(飯島・服部おとり)到着しました。

久しぶりに鮎つりをするもんで、仕掛けのセッティングに手間取り、最初の一本をゲットできたのは10時半ごろでした。追星のはっきりした所謂「まっ黄黄」の鮎です。



九頭竜川は我が家から遠い(約 400km)けど、鮎は多いし釣り人も多いので、その気にさせてくれます。鮎は多いと申しましたが、今日は初日なので、明日のオトリが確保できればそれでよしという気分です。今日の釣果は 8 匹でした。

3~4 日滞在するつもりなので、スローペースです。知床も暑かったけど、こちらの西日は強烈です。今日は焦って日焼け止めクリームを塗るのを忘れてしまいましたので、目の周りが真っ黒になったような感じです。

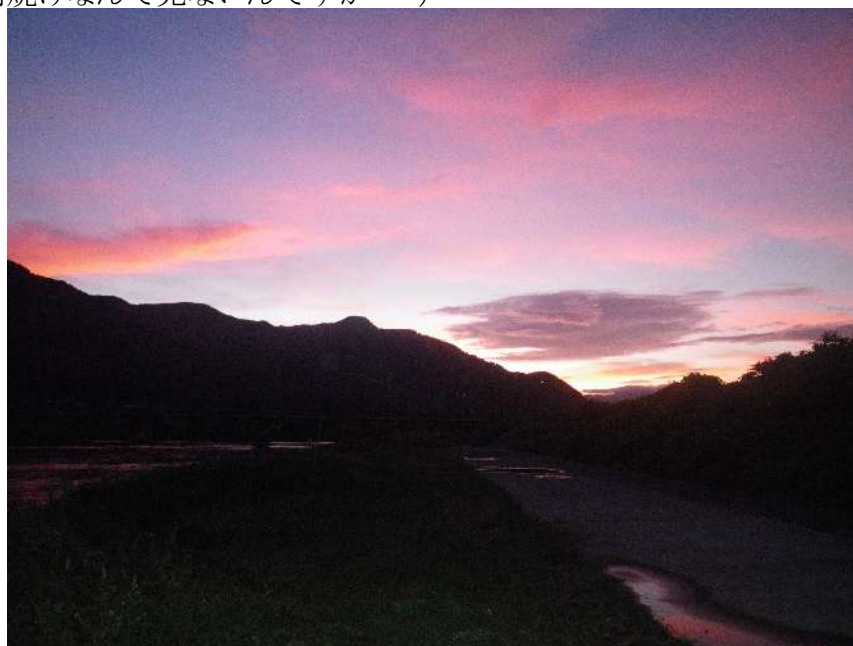


今日は(明日も?)ここに泊まる予定です。美しい九頭竜川の夕日を見ながらカンチュウハイで一人酔っ払っています。



8月23日(木) 寂しい釣果

ここ永平寺町飯島では白山の方向から朝日が昇ります。今朝の朝焼けはとても綺麗でした。(自宅に居る時は朝焼けなんて見ないんですが…)



朝の7時から川に入って頑張ってはみたものの、全然釣れません。おとりはどんどん弱るし、ますます焦って悪循環です。結局、午前中でやっと1匹、午後から4匹という貧釣振りでした。

実は今日、また、やっちまいました。今年買ったばかりの御ニューの竿を折ってしまいました。竿を折るのは毎年のことなので、もう慣れっこになって、それ程辛くもないのですが、やっぱり悔しいです。今年なら竿を折っても保証書で部品交換¥7,000で済むので、お得だとも言えます。来年だったら保証外なので、多分¥70,000はするでしょうから…

この竿は、今年のフィッシングショウイン inOSAKA で森岡プロと瀬田プロがお勧めされていた、かつ featured by 有岡プロの DAIWA GINEI AIR TYPE-S です。帰ったから即、保証書と一緒に「プロショップかつき」に送ります。



早めに仕舞って、森石釣具店に氷を買いに行ったら、その森岡プロが来店されていました。買った氷で、鮎を全部絞めました。手元の鮎は昨日から引き釣り回しているのでへろへろになっていたもので、明日はゼロリセットして養殖オトリから始めようと思います。

夕方は、坂井市丸岡町の「霞の里温泉」に行ってさっぱりしました。この温泉にはサウナも水風呂もあって、料金¥500でベリーナイスです。この露天風呂から紺碧の空を眺めると三日月が輝いていて心和む風景でした。帰りに、福井市方面の空のを見ると稲光が光っていました。

8月25日(土) 八月の九頭竜川釣行

昨日と今日は九頭竜川の吉波というポイントに入りました。釣果はぱっとしませんが天候には恵まれ合計4日間、楽しく鮎釣りができました。



昨日は、発電所の放水路脇の公園に車を留めて車中泊しました。トイレもあるし静かで素敵なロケーションです。「鮎釣りは、人が釣れる」と道下兄貴が言われていましたが、昨日の宿泊地で、鮎釣りについて熱く語る人と巡り会いました。一日中、暑いのに川の中を歩き回っていたせいか、缶チューハイを2本も飲むと眠くなって、ブログはパスしてしまいました。

今日は土曜日ということもあって、釣り客が非常に多く、どの釣り場も混雑していましたが、其処はキャパシティの大きい九頭竜川なので十分カバーしていました。今年は平年よりも天然遡上の量も放流量も少ないらしく、全般的に釣果の方は冴えないようでした。しかし、魚は居るので、釣る人は釣るし、釣れない人は釣れないのでした。



今日は、3 時頃には切り上げて帰路につき、途中で「みかた温泉きららの湯」で九頭竜川の垢を流しました。温泉を出て1 時間程運転すると眠くなったので、舞鶴 PA で休憩していたところ、携帯電話のメール着信音で目が覚めて今日のブログを書いています。

8 月 26 日(日) ブドウとイチジクとバジルの成長

今朝 6 時過ぎに帰宅しました。朝 8 時から、地区のクリーン作戦と草刈に参加しました。今日も日差しが強く、涼しいところで過ごすのが一番なので、昼食後に散髪してもらいに行きました。髪の毛のメッキが剥がれかけていたので、修復してもらいました。少しは若返ったかしら？！

午後 3 時前に帰宅しましたが、まだまだ日差しが強いので、昼寝をしました。午後 4 時頃から、果樹の成長具合を確認するためにでかけました。



イチジクの樹を自家用として植えているのですが、この一週間で変化がありました。1センチから5mm位の大きさの実を付けていたのです。1年目の苗木に結実させては樹の成長を阻害すると思われるので、実はすべて摘果しました。

その後でブドウ園に行きました。8月の月上旬から蔓の成長は停止したままです。しかし、幹の色に変化がありました。幹の色が緑色から茶色になってます。基の方が茶色で、先端部に行くほどに黄色、白っぽい緑、緑色に変化します。成木の幹の色は茶色なので、徐々に成長している証なのでしょう。

私がブドウの栽培を始めたことを知っている多くの知人から「ブドウの生育具合はどうか？」と尋ねられると、「順調に成長しています」と答えます。でも、正直言って、何が順調な成長なのか知りません。ひょっとしたら、成長が遅れているのかもしれない。初めて育児をする一年生お母さんの気持ちです。



ピザの具にするために、今年初めてハーブの王様と言われるバジルを栽培してみました。インターネットか何かで、花芽をこまめに摘み取ると良いとの情報を得ていたので、1本だけはそのようにして、他の樹は放置して見ました。



その差は歴然で、花芽を残した樹は花が咲いて樹や葉の成長が止まりましたが、花芽を摘み取った樹は葉が大きく、樹も大きく成長しました。上の写真は花芽をこまめに摘み取った樹で、下の写真は放置した樹です。



果実にしろ、野菜にしろ植物の究極の目的は種子を残すことなので、花を咲かせると、次のステップである実すなわち種子を充実させるというステップに進むので、樹勢や葉の成長には余分な養分を注がないということなのでしょうね。

物心付いた頃からラジオ少年だった私はエンジニアとしての道を進んだので、生物とかは勉強したこともなく何の関心も無かったのですが、農業一年生の今年は生物の営みについて勉強させられます。

8月27日(月) アンテナファームの草刈



午前中、無線小屋周辺とアンテナファームの草刈をしました。朝7時から開始して、途中で2回

程休憩をいれ、11時事半頃までかかりました。割と雲の多い天気だったので助かりました。

シャワーを浴びて、昼ご飯のおかずを2品作りました。茄子の味噌炒めとゴーヤチャンプルです。食材は我が家で採れた野菜が殆どなので経済的です。昼食後はホームページを更新をしたり、お昼寝をしました。午後からは台風の影響なのか、風が強くなりました。

8月28日(火) バジルと茗荷とオクラ入りラーメン

今日も朝7時からブドウ菌に草刈に出かけました。2時間程ブドウ菌の周囲の畦の草刈をしました。天候は曇りで、風がやや強くて、あまり汗もかかず快適でした。

ブドウの苗木毎に設けていた雨除けビニールを外しました。そろそろ台風のシーズンになるので、雨除けは却って災いの元になりそうです。ブドウの樹が丸見えになり、風に吹かれて楽しそうです。



昼前に家に戻って、シャワーを浴びてから昼飯の支度をしました。今日は、母親が外出しているので親父と二人きりです。なので、簡単にラーメンライスにしました。戸棚を探すと「サッポロー番」が1個ありましたので、これにしました。

具としてオクラと茗荷のスライスしたものを入れて麺と一緒に茹でて、茹で上がったところでバジルの葉を5枚程と卵を1つ入れて掻き混ぜました。

単なる思いつきというか、有り合わせの材料を使っただけですが、なかなか Goodなお味でした。茗荷がシャリシャリしていて、オクラが適度な柔らかさで、バジルの香りが味噌とマッチしていたように思います。

今年、我が家の菜園ではオクラが大豊作です。というか、数多く植え過ぎたようです。生のオクラをスライスした程度では食べ切れません。天ぷらにしたら美味しく大量に消費できました。今日のラーメンのような煮物にもマッチするようです。

今夕、農大の仲間とビヤガーデンに行く予定です。「飲んだら乗るな」なので、今夜は岡山市内のホテルに泊まる予定です。ブログを書き忘れそうなので、昼のうちに書きました。

ビヤガーデンに行くついでに、備前県民局に立ち寄って狩猟免許を交付してもらおうつもりです。7

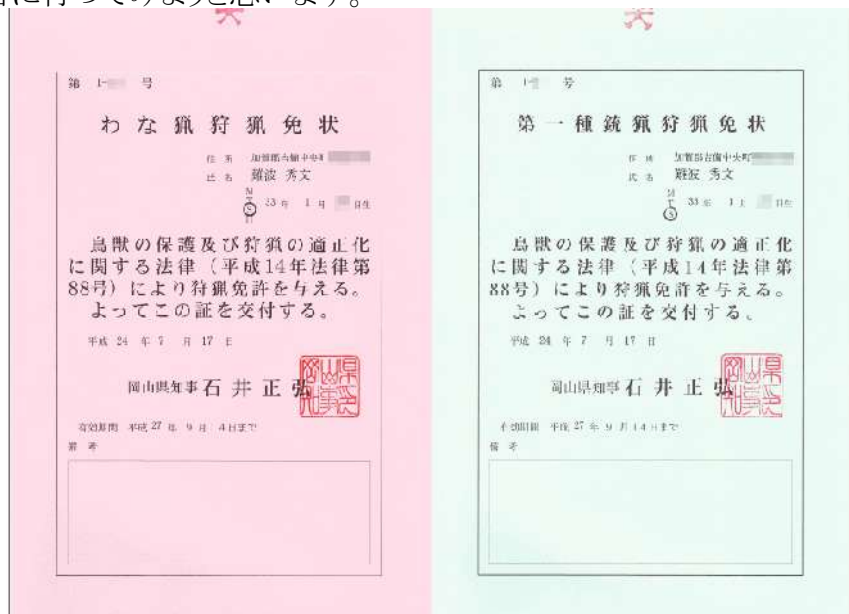
月8日に受験した試験に合格していて、8月6日以降に狩猟免許が交付されることになっていたのですが、あちこち遊び歩いているので未だ行っていませんでした。

ついで、先日の九頭竜川釣行で折った竿の破片をショップに送る予定です。今月末頃には新品の元竿が手元に送付されるでしょう。



8月29日(水) 狩猟免許

昨日、備前県民局に行って、狩猟免許を受け取りました。猟期は11月15日からですが、猟をするためには、更に狩猟者登録を行う必要があります。狩猟者登録は10月1日から受付開始されるようです。また、銃猟をするには、銃を手に入れる必要がありますが、それには銃の所持許可を得なければなりません。こっちの手続きは結構面倒そうです。一昨日、近所の猟友会の方が来られて、色々お話をお聞きました。まずは、購入する銃を決めることから始めるのが順当なようですので、近い内に銃砲店に行ってみようと思います。



今日は、岡山シティーホテル桑田町から、赤磐市の農業大学校に行きました。午前中、果樹各論(モモ①)の講義を受けました。午後2時前に帰宅した後、ブドウ園に行って、先日ビニールを外した雨除けの後片付けをしました。

8月31日(金) 匹見峡温泉やすらぎの湯



昨日から高津川に鮎釣り来ています。昨日の釣果はパツとしませんでしたが、今日はバッチリ Good です。こんな 22cm 位の手ごろサイズが入れ掛かりでした。

でも、明日から友釣り専用区の網漁が解禁されます。今日の入掛かりポイントも、明日は霽囲気が一変します。

昨夕は、匹見峡温泉やすらぎの湯で知り合った阿部さんの別荘で一杯やっていたのでバタンキューでした。この方もちょっとした鮎釣りキチです。鮎釣りキチはすぐに友達になってしまいます。